

働 き な が ら 学 べ る



武庫川女子大学

武庫川女子大学大学院

看護学研究科 看護学専攻

男女
共学



Mukogawa Women's University
Graduate School of Nursing

修士課程

- 看護学研究コース
- 看護学研究保健師コース
(保健師国家試験受験資格取得コース)

博士後期課程

看護の質を向上させる 思考力・研究力を育てる大学院



大学院への進学を考えておられる看護職者の皆様へ。

武庫川女子大学大学院看護学研究科は2015年4月に修士課程を、2017年4月に博士後期課程を開設しています。本看護学研究科の特色は、現職看護職者のキャリアアップを目指していること、修士課程では保健師を養成し保健施策の企画力を育成すること、看護実践の場や看護教育機関で教育研究能力を発揮できる人材の育成を目指していることです。臨床の看護職者の質を上げ、リーダーシップが取れる人を育成したいという思いから現職看護職者のキャリアアップを目指しています。

修士課程では臨床での問題点や疑問点を解明することを研究課題にし、修士論文を作成する過程を通して臨床での問題解決につなげていきます。このプロセスを経ることで臨床での「経験知」を「理論知」に変えていくことができます。保健師養成課程では質の高い教育を受けた修了生を行政の保健衛生部門に送り保健師活動の質を上げていきたいと考えています。2019年度現在、修士課程で保健師を養成している大学院は国公立大学8校、私立大学6校です。本研究科は近畿圏の大学院に先駆けて保健師養成をしています。

博士後期課程では、思考力と研究力をつけて教育や看護実践の場で指導者として看護学の理論構築を目指す力を身につけてもらいたいと思っています。このような大学院教育を展開することで、臨床と教育の有機的なつながりが強化され、互いに切磋琢磨して看護の質向上に寄与できると確信しています。

本研究科は総合大学の強みを生かして他研究科の講義を受けて視野を広げ、幅広い見地から看護教育や看護実践を振り返り、大学院生が解決すべき課題に取り組んでいけるようなカリキュラムを組んでいます。教員もその資質と能力をフルに発揮し、大学院生の教育に携わっています。本研究科では快適な学習・研究環境を整えて皆様をお待ちしています。

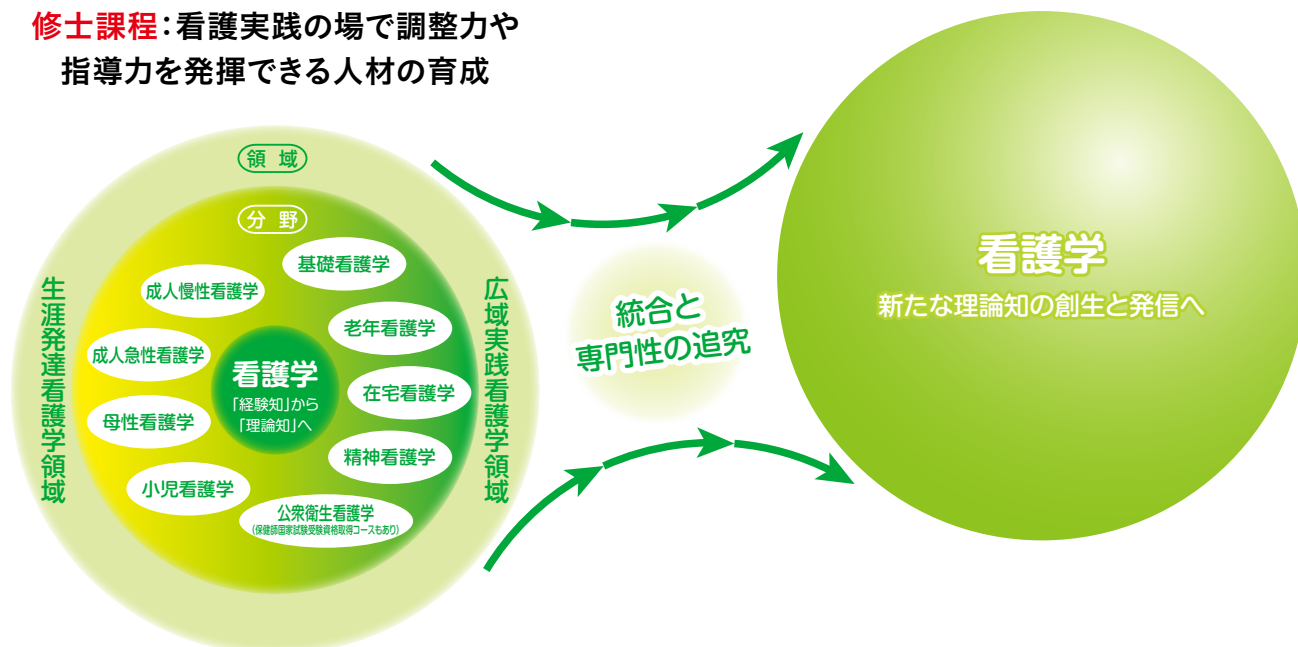
まち うら み ち こ
町浦 美智子 研究科長

博士（看護学）。助産師として臨床経験を積んだのち、母校である大阪大学医療技術短期大学（当時）にて、母性看護学の教育に携わる。その後米国で修士、博士の学位取得。鹿児島純心女子大学助教授、大阪府立看護大学看護学部／看護学研究科助教授・教授、大阪府立大学看護学部・地域保健学域看護学類／看護学研究科教授を経て、現職。研究分野は母性看護学、助産学。

看護学研究科の概要

修士課程：看護実践の場で調整力や指導力を発揮できる人材の育成

博士後期課程：看護実践の場で教育研究能力を発揮できる人材の育成



教員の紹介

生涯発達看護学領域

主として生涯発達の視点での対象および家族を理解し、現代社会において、様々な発達段階にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域

成人慢性看護学分野

病いとともに生きることを支える援助を考える！



教授：川端京子

博士(看護学)
腎不全や糖尿病、がん化学療法を受ける患者などの療養生活を支援するための研究を行っています。



教授：布谷麻耶

博士(看護学)
炎症性腸疾患患者やがん患者など慢性疾患を有する患者の療養生活や治療法の意思決定に焦点を当て、患者のセルフケアやセルフマネジメントを支える看護のあり方を探求しています。

成人急性看護学分野

急性期の患者さんや家族の健康と生活を支援



准教授：師岡友紀

博士(保健学)
手術療法を受け臓器の形態や機能に変化を生じる患者への看護、および急性期にある患者への看護を研究しています。現在は生体移植における看護や脳死とせられる状態の患者の看護など、主として移植に関わる領域の支援を探求しています。



講師：南口陽子

博士(看護学)
がんの手術に伴うリンパ浮腫の予防やセルフケアを促進する看護ケア、および患者・家族と医療者との話し合いを通じた治療や療養の場の意思決定支援に関する研究を行い、患者・家族のQOLの維持や向上を目指しています。

小児看護学分野

成長発達過程にある子どもとその家族の看護



教授：藤田優一

博士(看護学)
子どもへの看護実践や地域で生活する子どもへの支援など、子どもと家族に関する内容について幅広いテーマで研究をしています。



講師：植木慎悟

博士(看護学)
病気を持つ小児の親の不安や不確かさに関する質的・量的調査および尺度開発、アロマセラピーを用いた介入、小児の針刺し時の痛みを軽減する介入について研究しています。

母性看護学分野

性と生殖に関するよりよい健康を目指して



教授：町浦美智子

Ph.D. in Nursing [米国]
女性のやせ志向、親役割取得、更年期症状などの健康課題・問題を中心に女性とその家族のQOLの向上につながる看護支援を探究しています。



教授：本間裕子

Ph.D. in Nursing [カナダ]
思春期～成人萌芽期の健康・リスク行動の研究をしています。特に、女性や性的マイノリティの健康など、ジェンダー/セクシュアリティと健康との関連に関心があります。

広域実践看護学領域

主として制度・施策と看護との関係について理解し、現代社会において、様々な健康状態にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域

基礎看護学分野

看護実践の基盤となる看護技術・知識・態度の育成



教授：久米弥寿子

博士(看護学)
看護教育に関して、コミュニケーション技術や看護過程・看護診断過程、電子カルテに関する研究、現任教育の課題や実態に即したサポート体制のあり方の検討等を行っています。



教授：片山 恵

博士(看護学)
看護技術を用いた対症療法の効果の検証と開発に関する研究をしています。



准教授：清水佐知子

博士(経済学)
限られた資源の下で安全で良質な保健医療サービス、看護ケアサービスをいかに効果的効率的に供給していくか？という課題に対し、現状把握及びシステムづくりに資する研究を行っています。また保健医療政策、保健医療プログラムの医療経済分析を行っています。



講師：田丸朋子

博士(看護学)
看護師の腰痛予防や患者の安楽などの視点を持って、看護技術が看護師や患者にどのような影響を及ぼすのかなどの検証に、主に実験研究で取り組んでいます。

老年看護学分野

高齢者の健康の維持・増進のための看護の基礎を学ぶ



教授：徳重あつ子

博士(看護学)
高齢者の寝たきりや認知症予防のための看護ケアを中心に、超高齢社会の日本において、より良く生きるためにはどうしたら良いかという点に主眼を置いて研究を行っています。



講師：岩崎幸恵

博士(看護学)
高齢者の褥瘡予防に関する実験研究を主に行っています。体型差や頭部挙上角度に着目し、体型データの測定や皮膚血流量と体圧の測定を行い、皮膚への圧迫状況を調べ、体型別の褥瘡予防体位の開発をしていこうと考えています。

精神看護学分野

ケアからセルフケアへ共に成長し合える援助関係



教授：寶田 穂

博士(看護学)
精神的な健康問題をかかえている当事者の回復支援や援助職者への支援をテーマとした質的研究を行っています。社会におけるグループダイナミクスや対話を重視し、みえない現象を論理的思考・感性を駆使しながらひもとく、実践知の構築をめざします。



准教授：新田和子

博士(看護学)
身体的治療を要する人が心の健康を維持しつつ治療に臨めるための支援やその援助者の支援についての質的研究に取り組んでいます。お互いの存在や価値観を認め合い心を開いて語れるための実践を研究の視点で捉え直したいと考えています。

在宅看護学分野

慣れ親しんだ自宅での療養生活を支える看護



教授：新田紀枝

博士(保健学)
在宅療養者とその家族のQOLの維持・向上、家族の介護負担を軽減する看護支援に関する研究、訪問看護師による看護実践のプロセス、ケア技術に関する研究をしています。



教授：久山かおる

博士(保健学)
在宅での看取りにおける看護師の役割や地域包括ケアシステムの中の多職種連携に関する研究をしています。



准教授：早川りか

博士(臨床教育学)
支援の難しい問題を抱えた家庭への多職種連携によるサポート体制の構築についての研究や、訪問看護師の困難感、訪問看護活動の支援体制についての研究をしています。

公衆衛生看護学分野

すべての住民の病気の予防、健康の保持・増進への支援



教授：和泉京子

博士(保健学)
健康増進およびQOLの向上に寄与する研究、特に成人期・高齢期の社会経済背景をふまえた生活習慣病予防・介護予防に関する研究に取り組んでいます。健診や医療機関につながらない方へのアウトリーチ活動である家庭訪問を通して支援のあり方を検討しています。



准教授：金谷志子

博士(看護学)
要介護者やその家族介護者、貧困、社会的マイノリティなど潜在的な健康リスクとなる脆弱性を持つ人々の健康課題の解決に関する研究に取り組んでいます。



修士課程の紹介

「経験知」を「理論知」に進化させる修士課程

育成する人材像

看護学研究コース：実践の場での調整力や指導力を発揮できる人材

看護学研究保健師コース：上記に加え、保健行政への参画力を有する保健師



ディプロマ・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針

「育成する人材像」に基づく以下のような能力・資質を備え、課程修了が認定された者に修士の学位を授与します。

1. 専門領域における幅広い専門知識と理解力を身につけている。
2. 看護の臨床現場で生じている課題の解決・改善に向けての研究を実施し、公表できる。
保健師として、複雑困難化している健康問題に対応できる。(保健師コース)
3. 臨床現場で生じている課題を科学的・論理的思考に基づいて解決する方法を見出すことができる。
4. 看護実践、看護教育、看護研究の発展に寄与するように、自らの実践能力を向上していくことができる。
5. 保健医療チームにおけるリーダーとして、メンバーの役割を尊重し、メンバー間の協働や連携を促進することができる。
6. 地域の健康課題を解決する方策を探索し、施策の企画、立案、実施及び評価が行える。(保健師コース)

アドミッション・ポリシー

入学受入れの方針

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた人を求めます。

1. 本学の理念、本研究科の教育目的・目標を理解し、社会的・国際的な視野にたって人々の健康と福祉の向上並びに看護学の進展に寄与したいという意思をもつ者
2. 自身の経験知をもとに、自身の問題意識や課題を表現できる者
3. 実践を通して課題を見だし、改善や発展に向けて、研究的視点を持って課題を追究していくことのできる者
4. 自身の考えを明確にしつつも、他者の意見を聞くことができ、柔軟な思考で考えを発展させていくことのできる者
5. 地域住民の健康に関心を持ち、健康課題の明確化とその解決に向けた実践を通して、将来保健師として社会貢献する意欲のある者(保健師コース)



カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針

修士課程では、経験知を理論知に進化させる学年積み上げ方式の教育の方針に基づき、①論理的思考力、②研究能力、③問題・課題の発見・言語化能力、④広い視野での考えに基づく発想力を育成するカリキュラムを編成し、共通教育科目、専門教育科目、公衆衛生看護学科目、特別研究を配置します。

共通教育科目

【専門基礎科目】

学生自身の問題意識や課題に関して、より広い視点から看護の課題を検討することができます。

【関連科目】

看護学と近接し関連する他研究科・専攻で開講する科目で構成し、豊富な科目の中から疑問を追求するのに関連する幅広い知識を身につけることができます。

専門教育科目

【生涯発達看護学領域】

主として生涯発達の視点で対象および家族を理解し、現代社会において、様々な発達段階にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域で開講する総論、特論、演習科目があり、成人慢性看護学分野、成人急性看護学分野、小児看護学分野、母性看護学分野があります。

【広域実践看護学領域】

主として制度・施策と看護との関係について理解し、現代社会において様々な健康状態にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域で開講する総論、特論、演習科目があり、基礎看護学分野、老年看護学分野、精神看護学分野、在宅看護学分野、公衆衛生看護学分野があります。

公衆衛生看護学科目

看護学研究保健師コースのみの学生が受講する科目で、保健師国家試験受験資格を取得できます。

特別研究

研究の中核となる科目です。自身の研究疑問に基づき、指導教員の研究指導を受けて、研究計画立案からデータの収集、分析等を経て、学位論文としてまとめます。

看護学研究コース 働きながら学びたいあなたをサポート

- 夜間開講(平日夜間と土曜昼間)※1 ●長期履修学生制度※2 ●社会人特別選抜 ●アクセス抜群
- 豊富な看護学分野(ご自身の専門分野で学べます)

※1 履修例…平日夜間に週2日と土曜昼間の計週3日。

※2 職業を有している等の事情で2年間での修了が困難な学生を対象とした、申請により3～4年間かけて学べる制度。授業料は2年分(教育充実費は毎年必要)

※学院内保育ルームあり(有料、要事前申込、1歳程度～10歳まで 7:30～21:30の随時、2.5時間以上の利用から)

看護学研究コースの大学院生の1週間

働きながら学ぶと、1週間の生活はどうなるのでしょうか。ここでは例として、ある学生の1週間の生活の流れを見ていきましょう。

授業のある2日間	朝から夕方までは病院で勤務。授業は6限(18:10開始)からなので、勤務が終わってからでも間に合います。						
	起床	通勤	勤務	通学	授業	自習	就寝
	6:00	8:30	12:00	15:00	18:10	21:20	0:00
授業のない3日間	夜勤のときもちろんありますが、忙しい時間の合間に自宅で勉強します。						
	起床	通勤	勤務	帰宅	自習	就寝	
	6:00	8:30	12:00	15:00	18:00	21:00	0:00
土曜日	土曜日は1限(9:00開始)から5限(18:00終了)までしっかりと授業を受けます。授業の後は自習室で予習・復習ができます。						
	起床	通学	授業	自習	自由時間	就寝	
	6:00	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00	0:00
休日…予習や復習に、リラックスタイムに、学習状況や体調など状況に応じた過ごし方を。							

※看護学研究保健師コースの場合は、日中にも授業が入ります。

大学院生からのメッセージ

平井 亜紀さん 精神看護学

働きながら大学院に通い続けられるか不安もありましたが、モチベーションが高く経験豊富な先輩・同期に囲まれ、たくさん良い刺激を受けて、充実した日々を送っています。臨床での課題を持ち寄り、授業で学んだ理論や知識を現場での経験も絡めて一緒に語り合うことで、自身の学びがより深まっていくのを実感しています。先生方も熱心に応じてくださり、困ったこともすぐに相談できるので、安心して学業に取り組んでいます。今後も、臨床現場にしっかり還元できるように、研究に真摯に取り組んでいきたいと思っています。



看護学研究保健師コース 保健師として活躍したいあなたをアシスト

- 保健師国家試験受験資格取得
- 看護学研究コースの教育課程に保健師の教育課程を加えた充実したカリキュラムを昼夜開講で実施
- 看護職として培った能力を礎にした実践力を養う教育

看護学研究保健師コースの大学院生の1週間

日中に授業のある日	授業のない時間は、予習・復習など自習に励んでいます。						
	起床	通学	授業	自習	昼食	授業	自習
	6:00	9:00	12:00	13:05	15:00	18:00	20:00
日中・夜間に授業のある日	午後からの授業にむけて自習時間を有効活用しています。						
	起床	自習	昼食	授業	自習	授業	就寝
	6:00	9:00	12:00	13:05	15:00	16:30	18:00
授業のない平日	予習・復習を自分のペースですすめます。						
	起床	自習	昼食	自習	授業	自由時間	就寝
	6:00	9:00	12:00	13:05	15:00	16:30	18:00
土曜日	※土曜日は看護学研究コースと同じです。						
	起床	通学	勤務	帰宅	自習	就寝	
	6:00	8:30	12:00	15:00	18:00	21:00	0:00
休日…予習や復習に、リラックスタイムに、学習状況や体調など状況に応じた過ごし方を。							

大学院生からのメッセージ

和田 みなみさん 公衆衛生看護学

本学の看護学部を卒業し、ストレートで進学しました。大学院では、主体的に考え意見を述べる機会が多く、また相手の考えを聞くことで、より学びを深めることができます。実習では、1年次に乳児と高齢者への継続家庭訪問を行います。訪問後のカンファレンスでは、実習指導者や教員からの助言を受け、さらに学生同士で意見交換することで、回を重ねるごとに視野が広がり、充実した実習となりました。対象者と徐々に信頼関係が築けていることを実感できた時は、とても嬉しかったです。1年次の学びを、今後の実習や研究に活かしたいです。



博士後期課程の紹介

理論知に裏付けられた経験知から新たな理論知の創生を目指す博士後期課程

育成する人材像

臨床現場や教育機関など、看護実践の場で教育研究能力を発揮することができる人材

ディプロマ・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針

「育成する人材像」に基づく以下のような能力・資質を備え、課程修了が認定された者に博士の学位を授与します。

1. 社会の変化に対応した看護を推進するために、経験知から新たな理論知を創生し、看護実践と研究の連続的なスパイラルの中で思考・実践できる研究能力を有する。
現任教育や看護学実習教育を担うことのできる教育研究能力を有する。
2. 看護学の発展に貢献するために、研究結果を学術集会や社会活動に発信し、それらの成果を実践の場に伝えることができる発信力と教育能力を身に付けている。
3. 社会の変化に対応した看護を推進するために、経験知から新たな理論知を創生し、看護実践、看護教育と研究の連続的なスパイラルの中で思考に基づいて解決する方法を見出すことができる。
4. より幅広い視野で見識を深め、統合力・連携力・創造力と看護職のアイデンティティを基盤として、教育研究活動を個人の志向により自立して実践することができる。

アドミッション・ポリシー

入学者受入れの方針

ディプロマ・ポリシーをふまえ、次のような資質を有する意欲ある人材を幅広く求めています。

1. 経験知を理論知に進化させ、理論知を実践に活用・発展させていくことのできる論理的思考を身に付けた人
2. 看護実践の場での課題を見だし、研究活動を継続していくことのできる基礎的能力を有する人
3. 看護実践の場での調整力や指導力を発揮し、看護実践及び教育活動ができる能力を有する人
4. 看護実践及び教育での活動を通して、看護学の発展に寄与できる能力を有する人

カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針

博士後期課程では、共通教育科目・専門教育科目・特別研究の3つの科目区分とし、論理的な思考を熟練させ、個々が抱いていた問題や課題を追求してエビデンスや理論を検証し、創生することによって新たな理論知を創り出し、それを社会に発信できる統合力・連携力・創造力を育成することができる教育課程を編成します。



共通教育科目

実践に基づいて理論を探究し構築していくという連続的なスパイラルの中での思考を発展させる基盤となる科目で編成しています。

・必修科目：看護エビデンス特論、看護理論探究特論

・選択科目：看護研究倫理特論、社会連携看護ケア特論、国際看護情勢特論

専門教育科目

看護学の様々な課題についての実際の研究事例からの学びをもとに、研究に関する多様な知識を得ることで視野を広げるとともに、看護学教育研究者としての自身の立つ位置を明確にし今後取り組む研究におけるエビデンスや理論知を創生するの意義や独自性・創造性の探究につながる科目です。

●選択科目：生涯発達看護学特講、広域実践看護学特講

特別研究

看護実践やフィールドワークを継続しながら、文献検討や調査等を行い、共通教育科目および専門教育科目での学びを統合し、個々の問題意識に基づいた研究疑問を明確にして疑問に応じた研究方法を検討し、研究計画立案にはじまる研究活動を積み重ね博士論文にまとめ上げます。さらに、それらを社会に発信できるまでの能力の育成を学年積み上げ方式によってめざします。

修了生からのメッセージ

北尾 美香さん 小児看護学

武庫川女子大学看護学部で助教をしながら博士後期課程に進学し、2020年3月に修了しました。講義では、研究方法や研究デザイン、看護理論、倫理的課題について先生方の研究や最新の知見を基に学びました。学んだ内容をどうすれば自分の研究活動や教育活動に活かすことができるかを考え、実践する力が身につきました。また、ゼミでの他の院生や先生方とのディスカッションを通して、様々な角度から検証すること、柔軟に考えることの重要性を学びました。今後は博士課程での研究成果を積極的に発信し、臨床現場に伝えていきたいです。



充実した学習環境

施設面



セミナー室

少人数で行う講義やグループディスカッションで使用します。目的に応じて、自由に机やイスの配置を変えることができるので、アクティブな学習が可能です。



大学院生自習室

広い机に、自由に使えるパソコンが配置されています。講義の合間や前後の予習・復習で利用することができます。



図書館

本学の中央図書館、薬学分館、甲子園会館分室が利用でき、豊富な文献を読むことができます。



学院内保育ルーム (ラビークラブ)

学院内に保育ルームを完備しています。有料で事前申込制、1歳から10歳まで預かり可能で、7:30～21:30の間の2.5時間以上の利用から受け付けています。

学生支援

- 学会活動支援制度：国内外学会発表・参加に関わる旅費・参加費の一部を支援
- 奨学金制度

大学院で学ぶ Q&A

Q：専門学校卒業ですが、大学院修士課程に進学できますか？

A：専門学校を卒業後、看護職として一定の実務経験を有する方であれば受験が可能です。入学試験を受ける前に、個別の入学資格審査※を受けてください。（詳細は学生募集要項をご覧ください）

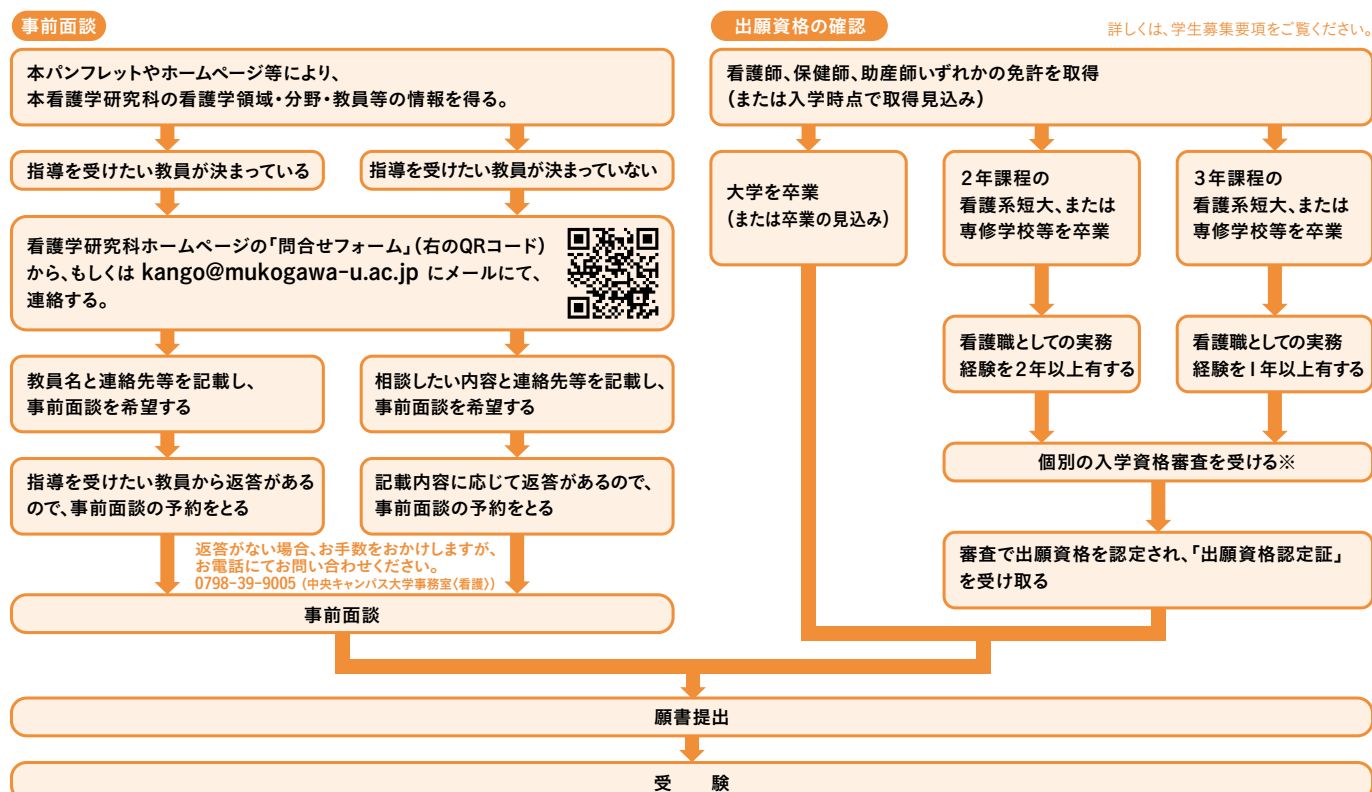
Q：まだ受験するかどうか決まっていません。受験を考えるにあたって教員に相談をすることはできるのでしょうか？

A：受験前の事前面談でなくても、受験を考えるにあたっての事前相談にも応じています。下の受験までの流れを参考に、ご連絡ください。オープンキャンパスでも相談することができます。

Q：子どもがいるので、授業に参加している時間、学院内保育ルームは利用できますか？

A：事前のお申し込みで、1歳程度～10歳までのお子様を21:30までお預かりします（有料）。修了生の中には、学院内保育ルーム（ラビークラブ）を利用して授業を受けた方がいました。（詳細は中央キャンパス大学事務室〈看護〉にお問い合わせください）

受験までの流れ



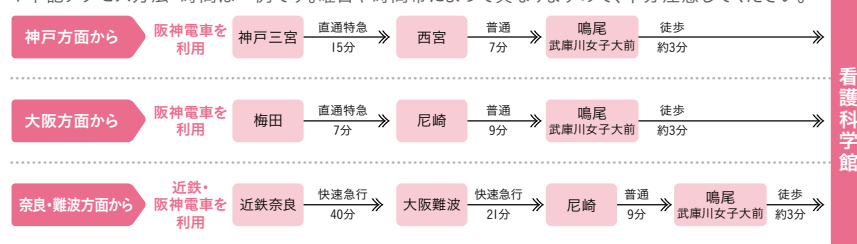
2021年度学生募集概要

	修士課程(修士)		博士後期課程(博士)
	看護学研究コース	看護学研究保健師コース	看護学専攻
学位・資格	修士(看護学)	修士(看護学) 保健師国家試験受験資格	博士(看護学)
標準修業年限	2年	2年	3年
長期履修学生制度	長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの事情で、通常の修業年限で修了することが困難な方のための制度です。この制度を利用し、標準の修業年数を超えて学び、学位を取得することが可能になります。ただし、この制度を利用する場合、本人の申請に基づき審査を受け、承認される必要があります。詳細については学生募集要項をご参照ください。		
募集人員	12人(うち、看護学研究保健師コース4人程度)		3人
出願資格 (抜粋のため、詳細は学生募集要項でご確認ください)	入学時点で看護師、保健師、助産師のいずれかの免許を取得している方で、 ①大学を卒業している方および、2021年3月31日までに卒業見込みの方 ②3年課程の看護系短期大学または専修学校等を卒業した方で1年以上看護職としての実務経験を有する方。(個別の入学資格審査対象者)		保健師、助産師、または看護師の免許を有し、入学時点で修士の学位あるいは専門職学位を有する方、または2021年3月31日までに取得見込みの方。
入 試 日	前期募集:2020年10月 3日(土) 後期募集:2021年 2月13日(土)	推薦入試:2020年 6月 6日(土) 前期募集:2020年10月 3日(土) 後期募集:推薦入試と前期募集で定員を充足しなかった場合に実施します。 2021年2月13日(土)	前期募集:2020年10月 3日(土) 後期募集:2021年 2月13日(土)
選抜方法	■一般選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:50点) ■社会人特別選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:25点) ・書類審査「看護職経験等説明書」(25点) ※専門科目:看護学の基礎的学力を問う問題	■一般選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:50点) ■社会人特別選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:25点) ・書類審査「看護職経験等説明書」(25点) ■推薦入試 ・武庫川女子大学看護学部を卒業見込みの者を対象に実施する。	■一般選抜 ・口述試験(100点) ・筆記試験(英語:50点) ■社会人特別選抜 ・口述試験(100点) ・筆記試験(英語:25点) ・書類審査「看護実践活動調書」(25点)
納 入 金 (2020年度入学生分)	入 学 金:28万円 授 業 料:80万円 教育充実費:20万円 実験実習費:16,000円(看護学研究保健師コースのみ)		入 学 金:28万円 授 業 料:70万円 教育充実費:20万円
学生支援	・学会活動支援制度:国内外学会発表・参加に関わる旅費・参加費の一部を支援 ・奨学金制度		

*詳細は「2021年度武庫川女子大学大学院 大学院要覧・学生募集要項」または看護学研究科HPをご覧ください。

Access

*下記アクセス方法・時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



武庫川女子大学
武庫川女子大学大学院
 看護学研究科 看護学専攻
 修士課程・博士後期課程

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
 TEL.0798-39-9005(中央キャンパス大学事務室(看護))
 TEL.0798-45-3500(入試センター直通)
 看護学研究科ホームページ
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kango/>

